



イベントレポート

歯科技工経営セミナー

— 新東京歯科技工士学校にて講演を行いました

レポート:サービス事業部 深沢

2014年1月25日、東京品川の新東京歯科技工士学校にて、弊社代表の宗村による講演が行われました。この講演会は、東京を拠点に活動している大手ラボの経営者が一堂に会し、ラボの経営について講師を招聘し学ぶといった趣旨の下で開催されています。誌面「歯科技工」に掲載された宗村の寄稿文が縁で、今回の第三回講演会に講師としてご招待いただきました。

「歯科技工所のブランド経営」と題し、約90分程の長い講演となりましたが、聴講されたラボ経営者の方々には熱心に聞いて頂けた事と思います。歯科業界が抱える様々な問題はラボとしても無視出来ない大変大きな問題であり、それらの諸問題にどの様に対応して行けば良いのか、頭を抱えている方も多く聞きます。歯科技工所である事から、技術的な側面も重要であります



の事でした。歯科技工物の提供を安定させる意味でも、これらのデータは今後の歯科技工運営において大変参考となるデータとなります。弊社では引き続き、歯科医療の発展に寄与する事を目的として、歯科技工業の安定化をも意識してまいります。

が、それらの言及については避け、全く違った側面からのアドバイスとして「ブランドイメージ」について弊社にて心掛けていくいくつかの事をまとめ、宗村よりお話ししました。

また、会場が新東京歯科技工士学校である事から、当校職員より、技工士学校の現況についてのプレゼンもありました。歯科技工士を目指す学生総数は年々低下していると言われてはいますが、当校では横ばい状態であり依然、高い水準を保っているようです。その反面、全国の技工士学校が年々閉鎖され、減少している傾向にあるそうです。2009年度には61校あった学校も現在では53校となっており、わずか5年で8校も閉鎖されているそうです。また、歯科技工士を目指す方の内訳として、新卒者よりも既卒者、社会人が多い事、更には女性も増加しているとの事でした。

**4月より
保険適用に
CAD/CAMによる
ハイブリッド
セラミックの
小白歯**

2014年4月より、CAD/CAM製作によるハイブリッドセラミックが、小白歯に限り保険適用となります。

先進医療会議において「歯科用CAD/CAMシステムを用いたハイブリッドセラミックによる歯冠補綴」が、優先的に保険導入が適切であると評価されていましたが、この度、保険適用となりました。弊社でもCAD/CAMシステムによる当該技工物をご提供しておりますので、不明点等ございましたら弊社までご相談下さい。

イベントレポート

モリタ歯科技工フォーラム

1月25日 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

レポート: 架工部第三課 山下道之

今年で6回目の参加となりました。なるべく毎年参加するようにしているのは、年の始めに毎回色々な先生方の講義を聴講することにより、自分自身の歯科技工に対する気持ちを奮い立たせるためと、現在の歯科技工業界の情報収集と技術向上の目的を持っていたいからです。

講演は三つの会場で同時進行で行われており、それぞれのレベルと分野に合わせて聴講することができ、今自分が勉強したい事がダイレクトに聴けるので無駄がなく良かったです。まず始めに聴講したのは、カナレテクニカルセンターの加藤尚則先生のkatana Zirconia HT/MLの材質理解とフルジルコニアクラウンの臨床例の講義でした。ジルコニアブロック自体に透過性を持たせたもので、大変困難なフルジルコニアクラウンのステイニングを少し容易にできるというものでした。しかし、クラウン自体に十分なクリアランスがなければ透過性を活かさないという事でした。ですので、まだまだステイニングに頼るところが大きいと思った事が率直な感想です。次に聴講したのは、五十嵐智先生のファイナルを意識したプロビジョナル制作の講義で、大変ためになりました。プロビジョナルの段階で粘膜の状態を意識し歯冠の長さを平均値から導き出すというものでした。私自身も臨床で活かしていきたいと思いました。次に聴講した鹿児島ミリングセンターの崎田竜二先生の講義は、ジルコニアの需要や必要性に特化したものでした。そして最後は大谷歯科クリニックの大谷一紀先生、同じく大谷歯科クリニックの歯科技工士、湯浅直人先生の講義でした。大谷先生の再治療歯の変色歯に対する支台歯形成のアプローチや歯冠乳頭へのアプローチは、直接我々歯科技工士が関与できない部分でもありますが、やはり歯冠乳頭の再生など私自身も大変気になっている事だったので、凄く勉強になりました。歯科技工だけにとらわれず、歯科治療全般・トータル的な考えを持って仕事に励んでいきたいと思いました。湯浅先生の講義は、歯科技工士ならば誰もが習得したい色調再現に特化したものでした。ポーセレンの多色盛りではなくインターナルステインを駆使したもので、対応できるポーセレンの材質にもよりますが臨床に活用できる内容になっていて、大変勉強になりました。



大会/パンフレット

今回はジルコニアの講義が大半でしたが、やはり現在の歯科技工事情はCAD/CAMなしでは語れないと痛感しました。私も現代を生きる歯科技工士として、これからも情報収集、技術向上に邁進していきます。

カービングコンテスト C-1グランプリ2014 結果報告

1月4日 群馬本社・東京支社合同

レポート:サービス事業部 長谷川

年始の社内恒例行事、カービングコンテストC-1が今年も開催されました。カービングとは、石膏を彫り込み、歯の形を表現するという単純明快な作業ですが、歯の形態を良く理解していないと大変難しいものです。このC-1は本社技工士と東京支社の技工士も交え、目指せ!最優秀賞!という事で総勢31名がエントリーしました。最優秀賞を獲得すると、なんと社長より賞金を手渡されるという事で、技工士達の意気込みも年終早々最高潮に達します。今年からは新人優秀賞が新たに加わり、日頃から先輩に追いつけ追い越せと頑張っている新人技工士達もヤル気に火がついたことでしょう。審査方法は、番号のみ振られた現物を参加者全員が評価し、一番良いと思われる物に無記名で投票する形を取っております。



最優秀賞受賞・近藤の課題製作風景

開票はリラックスした雰囲気の中、1月下旬に本社にて行われました。今年賞を取った人は来年も、取れなかった人は来年こそは!の意気込みで、次回の実績を目指しましょう。結果は以下のとおりです。

 最優秀賞 架工部第一課 近藤 隼平	 優秀賞 東京支社 大楠 恭良	 優秀賞 架工部第四課 黒田 郁弥
 義歯課 優秀賞 義歯部第五課 金井 啓祐	 新人 優秀賞 架工部第四課 佐藤 裕太	



今年は若手陣が活躍しました!未来の足利セラミックラボラトリーを背負う、頼もしく彼らに期待がふくらみます。来年も頑張ってくださいね。

太田医療技術専門学校 ACL見学

2月12,19日 群馬本社

レポート:サービス事業部 長谷川

大雪のまだ残る中、太田医療技術専門学校の歯科衛生士を目指す生徒さんたち総勢30名が、今年もACLに見学に行っていました。見学会は学校の授業の一環で、毎年恒例行事となっています。見学会は数回に分けて行われ、多くの生徒さんのため、弊社として可能な限り協力をさせていただきました。

歯科技工士と歯科衛生士は、同じ歯科業界でも職務内容が違い、近い位置にいながら直接的な関わりは多くないことでしょう。なんとなくは分かっている、具体的などのような工程を経て完成するのか知らなかった技工物製作の様子を、知っていただく良い機会になったかと思えます。生徒さんたちも、実際に目にしたことのない製作現場を熱心に見学し、メモをとっていました。

普段は交流がない歯科技工士の業務を知ることで、これからの歯科衛生士としての自分の仕事に何か役立てていただければ幸いです。未来の歯科衛生士のみならず、頑張ってくださいね。



弊社代表の宗村やスタッフの説明に、真剣に耳をかたむけメモをとる太田医療技術専門学校の生徒さんたち

NEW! コスモデンチャーシステム導入

義歯製作の作業効率化、精度向上を目的として、義歯埋没の工程にて無開盆法を実現したコスモデンチャーシステムを導入しました。これにより「脱ろう」から「重合」の工程の一つのシステム上で完結でき、高精度の義歯を提供する事が期待できます。

無開盆法(むかいりん法)・・・義歯埋没法の一種で、義歯埋没後に重合完了までフラスコを開盆しない方法。鉤歯が全く動かないため正確な重合が可能となる。

